

## 中野市行政改革推進委員会 会議録（概要）

日 時	令和4年11月8日（火） 14:00～15:30
会 場	中野市役所4階 会議室42・43
出席者	<p>【正副会長】 佐藤会長、工藤副会長</p> <p>【委員】 堀崎委員、岩渕委員、小林(伸)委員、町田委員、平野委員、市川委員、竹内委員 清水委員、北原委員</p> <p>【市】 湯本市長、柴本総務部長</p> <p>【事務局】 阿藤企画財政課長、北村企画財政課長補佐、村上主事</p>
欠席者	<p>【委員】 小林(清)委員、野口委員</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会（13名中11名出席、過半数の出席者有りのため会議成立）</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 正副会長互選について</li> <li>4 協議事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第4次中野市行政改革集中改革プラン（令和4年度中間実績）について</li> </ol> </li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>
資料	<p>資料1 中野市行政改革推進委員会条例、名簿</p> <p>資料2 第4次中野市行政改革集中改革プラン(令和4年度中間実績)</p> <p>参考資料 中野市行政改革大綱 中野市個別施設計画 概要版</p>

1 開会（総務部長）

2 市長あいさつ

3 正副会長互選について（仮議長：総務部長）

会長に中野市区長会の佐藤彰芳委員

副会長に中野市ボランティア連絡協議会の工藤二六子委員が互選される。

4 協議事項（議長：佐藤会長）

（1）第4次中野市行政改革集中改革プラン（令和4年度中間実績）について

（資料2）第4次中野市行政改革集中改革プラン（令和4年度中間実績）について説明

【委員】

- ・第4次中野市行政改革大綱の期間中の到達目標や政策によって期待される効果などが、計画の背景にあるのか。そういうものが無いと効果測定など難しいのかなと思う。
- ・費用対効果の高いテレワークシステムの構築と書いてあるが、例えば東京とかの賃貸料の高いオフィスビルの場合は、テレワークによって通勤費、事務所の経費を大幅に削減でき、まさに費用対効果が目に見えると思う。市の場合は何か賃料がかかるわけでもないし、具体的にどういう費用対効果を考えているのか。また、テレワークだと働いている人の姿が管理者の方で見えなくなるので、勤怠管理などの検討状況も併せて教えていただきたい。

【事務局】

- ・現状、数値的な目標や指標が無いため、集中改革プラン進捗管理シートの“期待される効果”欄に記載の内容が全てであります。

→目標や指標が客観的に分かり易いよう、数字で示せるようにしたいと思います。

- ・通勤手当のような形での費用対効果というのは現実には難しく、災害時などに市役所に来なくても、災害現場や避難所等で仕事ができるように、かつシステムの保守管理料が低コストのシステムを検討しています。また、テレワークの実施する職員は、所属長が勤務中の行動や、業務の内容を見てテレワークを許可する。という運用をガイドラインに定めています。

【委員】

テレワークを進めるのであれば、ペーパーレス化をしないと意味がないと思う。

【事務局】

電子決裁・文書管理システムの導入も合わせて全庁的に取り組んでいきたいと思えます。

【委員】

アウトソーシングで外部に出してしまうと、どこに下請けを出して、どこに情報行ってしまうかわからない。個人情報を取り扱う最たるものが役所ですので、安ければいいというものではなく、セキュリティを考慮した上で推進していただきたい。

【事務局】

セキュリティの関係につきましては、法、国のガイドラインに基づき、情報管理をしており、定期的に各課の事業をピックアップし、情報管理が正確になされているかチェックを行っております。

【委員】

- ・災害等で、中野市全体が大停電なるなどした場合、デジタル化したことで何もできないということにならないよう、何かサポート体制などできているのか。
- ・P D C Aサイクルの注釈にはP D C Aの英単語で説明があるが、こうした表記をするのであれば、D Xなどの注釈もカタカナだけではなく、1度は英語スペルでちゃんと書いくべきではないか。

→表記方法を見直し、わかりやすい資料づくりに努めていきます。

【事務局】

現在、本庁舎は非常時の72時間の電力供給に対応している状態です。

【委員】

- ・デジタル化の推進により効率的になるが、サイバー攻撃や停電などで、全部ストップして行政運営が停滞する危険もある。そういう逆効果が生まれることがあると思うので、バックアップシステムなど含めて考えていただきたい。
- ・マイナンバーカードですが、認知症の方、寝たきり状態の方など、本人が動けない

場合もあります。そうすると、マイナンバーカードを持ってないし、使えない。そういう弊害があります。そこで振り落とされる人達を、どうケアしていくのか、そういうことも含めて考えていただきたい。

**【事務局】**

- ・業務継続につきましては、非常時に、業務が継続されるかどうか、あらゆる角度から各部署でマニュアル・ガイドラインを作成して取り組んでいます。
- ・マイナンバーカードにつきまして、メリットなり、懇切丁寧に説明をして、理解をいただければなと思っております。加えてDXの関係については、1人たりとも取り残さない、どんな方でもしっかり対応していくというのがDXの推進で、DX推進を行っていながらも、紙の部分について、即座に止めることはなく、当面の間は紙とデータの両方で、取り残される人がいないよう対応したいと思っております。

**【委員】**

市有財産の売却について、もっと地元の方々の希望・意見を聞いて欲しいというような声がある。市の財産というのは、みんなのためになるような使い方、地域のために使えるような、そんな条件付きで売却できないか。

**【事務局】**

施設を閉じるときに、希望や要望を聞いているケースもあり、できるだけそれに沿っていくよう考えている。ただし、買い手がつかない場合には、購入の条件を引き下げざるをえない。

公共施設を譲渡するか、継続するか、どの様に扱うかの方針は、中野市個別施設計画を変更して決定しているので、その時に議員さん、区長さん方を通じてご意見を頂戴する機会があると思います。

**【委員】**

中野市行政改革大綱の基本方針と重点項目、具体的な取組については、効率化、最適化、省力化が主要な内容かなと思います。

今後、議題として出てくるのかもしれませんが、攻めの施策をご提示いただける機会があればと思います。

**【委員】**

公共施設のトイレのペーパーですが、ロールの上から一つずつ紙が巻いてあって、あ

れは必要ないと思っています。包装紙が無い方が安いと思います。

**【事務局】**

コストが下げられるのか、納入業者に確認します。

→削減効果について別途検証いたします。

**【委員】**

ふるさと納税の目標額 15 億に対して、「今年度達成は厳しい状況にあります。」と先ほど報告されました。今年度の厳しいことの原因はどう考えているのか。

**【事務局】**

今年度、ポータルサイトを 8 サイトまで増やし、あらゆるところで、納税できる環境作成に取り組んでおります。ただ、現状の分析の中では、全国的により魅力的な商品、打ち出してきたおり、商品の充実、というところの影響が大きいと思っております。

**5 閉会（佐藤会長）**

終了 15 時 30 分